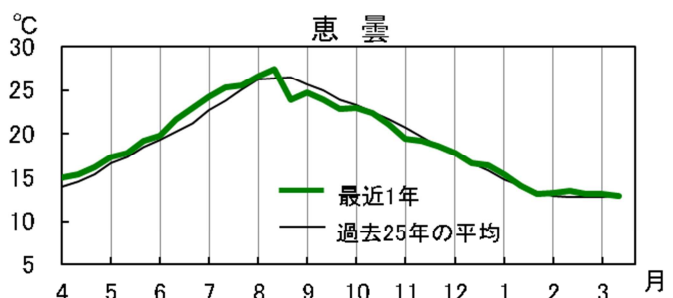
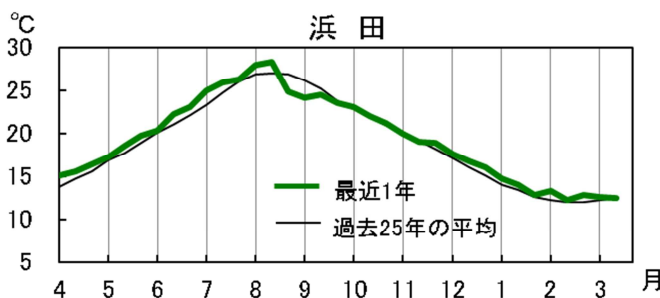




## 《2～3月の海況》

2月	月平均	平年差	評価
浜田	12.8℃	+0.7℃	やや高め
恵曇	13.3℃	+0.5℃	やや高め

沿岸定地水温は、浜田地区では、2月上旬は「かなり高め」、中旬は「平年並み」、下旬は「やや高め」となり、3月に入り中旬時点で「平年並み」で経過しています。恵曇地区では、2月上旬は「平年並み」、中旬は「かなり高め」、下旬は「平年並み」となり3月に入り中旬時点で「やや高め」で経過しています。



## 《2月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は22.7トンで平年を下回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、サバ類が126トン、マアジが26トンでそれぞれ平年の4割、2割となりました。隠岐地区ではサバ類、マイワシ主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は100.4トンで平年を上回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、サバ類は4,770トンで平年の3.4倍、マイワシは1,462トンで平年の1.8倍となりました。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）では例年漁獲の主体となるスルメイカが不漁で、1隻1航海当たりの漁獲量は69kgで平年を大きく下回りました。一方、西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカが漁獲の主体で、1隻1航海当たりの漁獲量は498kgで平年を上回りましたが、水揚げ日数が1日しかなく、総漁獲量としては低調でした。

## 【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではマフグ、キダイを主体に、1統1航海当たりの漁獲量は10.2トンで平年を下回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、マフグは平年の9割、キダイは平年の2倍の水揚げでした。その他、カワハギ類、マダイは平年の3.4倍、エソ類は平年の2.5倍の水揚げだった一方、スルメイカは平年の6割、ソウハチ、ミズガレイは平年の4割の水揚げに留まりました。

## 【小型底びき網漁業】

大田地区（和江・久手）ではアカガレイ、ヒレグロ、ソウハチが主体の漁況で、1統1航海当たりの漁獲量は888kgで平年の1.1倍の水揚げとなりました。魚種別の動向（総漁獲量）は、アカガレイが平年の1.6倍で総漁獲量の約4割を占めました。一方でソウハチは平年の5割の水揚げに留まりました。その他の魚種ではヒレグロが平年並み、ニギス、アンコウはそれぞれ平年の6割、アナゴ類は平年の1.1倍でした。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではブリ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は22.0トンで平年を上回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、ブリが全体の50%を占め、平年の7.2倍の漁獲量でした。石見地区ではサバ類、スズキ、ヤリイカ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は7.1トンで平年並みでした。魚種別の動向（総漁獲量）は、サバ類は平年の1.6倍、スズキは平年の8.3倍、ヤリイカは平年の8割の漁獲量でした。隠岐地区ではスルメイカ、マアジ主体の漁況で、1統当たりの漁獲量は8.8トンで平年を下回りました。魚種別の動向（総漁獲量）は、スルメイカが全体の75%を占めましたが平年の3割、マアジは平年の5割の漁獲量でした。

## 【釣・縄】

出雲地区ではブリ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は58kgで平年を上回りました。石見地区ではサワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は24kgで平年を下回りました。隠岐地区ではブリ、カサゴ・メバル類が主に漁獲され、1隻1航海当たりの漁獲量は31kgで平年並みでした。

【平成 29 年 2 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類	159 トン	24%	31%	22.7 トン	45%	61%	▲
	隠岐	サバ類、マイワシ	6,824 トン	203%	140%	100.4 トン	310%	189%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ、ヤリイカ	682kg	0.6%	0.3%	69kg	8%	6%	▲
	西郷	スルメイカ	498kg	—※	41%	498kg	—※	324%	◎
沖合 底びき網	浜田	マフグ、キダイ	297 トン	67%	94%	10.2 トン	55%	74%	▲
小型底びき 網	大田	アカガレイ、ヒレグロ、ソウハチ	283 トン	101%	90%	888kg	113%	113%	◎
定置網 (大型)	出雲	ブリ	154 トン	241%	169%	22.0 トン	241%	171%	◎
	石見	サバ類、スズキ、ヤリイカ	21 トン	78%	105%	7.1 トン	52%	89%	○
	隠岐	スルメイカ、マアジ	18 トン	130%	34%	8.8 トン	130%	44%	▲
釣り・縄	出雲	ブリ、サワラ類	52 トン	124%	85%	58kg	170%	121%	◎
	石見	サワラ類	17 トン	90%	54%	24kg	105%	84%	▲
	隠岐	ブリ、カサゴ・メバル類	11 トン	87%	82%	31kg	92%	98%	○

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

大型定置網漁業は 1 統当り漁獲量です。

※西郷地区におけるイカ釣り船（5 トン以上）の平成 28 年 2 月のスルメイカ漁獲量は無し。